

「解題」

2017年9月29日

第1回の解題

世界の漁業養殖業の生産量は増大していますが、日本は天然漁業も養殖業1988年以来減少の一途をたどっています。これは世界でも珍しい現象です。この間（水産基本法が制定されて以降15年間も200万トン減少）の行政的政策はなぜ漁業生産の減少を食い止める効果を持たなかったのでしょうか。また行政や政治家は漁業の衰退を正確に問題として認識しているのでしょうか。漁業法などの日本の法制度に原因があるとの認識を持っているのでしょうか。諸外国の比較と学習はどうしてしてこなかったのでしょうか。（外国と日本は違うとかたずけています）